

## 2021 年度前期 課目案内

### \* 公開講座

曜日	課目名	単位	本科/専攻科	担当講師
月	ギリシャ語初級	4	専攻科必修	小牧由香
月	* 連続公開講座「イエスのたとえ話:新しい聖書の学びへの招き」	4	共通選択	山口里子
火	教会史Ⅲ(日本キリスト教史)	4	共通選択	坂本誠
火	伝道学	4	共通選択	木村一充・秋山信夫・松村誠一
木	* 神学特講「旧約聖書釈義:出エジプト記を読む」	4	共通選択	城倉啓・田坂元彦
木	教会教育概論	4	共通選択	矢野由美
金	* 公開講座「賛美歌学」	4	共通選択	江原美歌子+ゲスト講師
金	教会形成論	4	専攻科必修	内藤淳一郎
土	楽典・ソルフェージュ	4	音楽本科必修	十時節子
土	* 合唱	2	音楽科必修	山中臨在
土	指揮法Ⅰ	4	音楽本科必修	山中臨在
土	教会音楽実践Ⅰ	4	音楽専攻科必修	菊地るみ子
	教会実習	6	音楽専攻科	十時節子
夏期講座	* 「介護の神学Ⅰ」(死にゆく人をどう看取るか、医師の立場から)	2	2021.8.2-3	山形謙二(神戸アドベンチスト病院名誉院長)

## 2021 年度後期 課目案内

曜日	課目名	単位	本科/専攻科	担当講師
月	ギリシャ語中級	4	専攻科必修	小牧由香
月	* 連続公開講座「アジアキリスト教史と連盟国外宣教を学ぶ」	4	共通選択	飯島信・井形英絵(連盟国外伝道室)
火	旧約聖書概論	4	共通選択	城倉啓
火	牧会学	4	共通選択	友納靖史・古家良子・松村誠一
木	組織神学Ⅰ	4	共通選択	(交渉中)
木	新約聖書概論	4	共通選択	坂元俊郎
金	* 神学特講「新約聖書釈義:ヨハネ黙示録を読む」	4	共通選択	木村一充・川口通治
金	礼拝学Ⅰ(礼拝の基本)	4	共通選択	坂元幸子・藤井秀一・福永保昭
土	* 合唱	2	音楽科必修	山中臨在
	教会音楽実践Ⅱ	4	音楽専攻科必修	菊地るみ子
	卒業演奏	6	音楽専攻科	江原美歌子
冬期講座	* 「介護の神学Ⅱ」(がん哲学外来を通して見えてきた人の生と死)	2	2021.12.27-28	樋野興夫(順天堂大学教授、ガン哲学外来理事長)

☛ 「専攻科必修」は神学専攻科と教会教育専攻科の必修課目です。

☛ 開講曜日および担当講師は変更する場合があります。



東京バプテスト神学校

〒112-0012 東京都文京区大塚 1-1-18

TEL:(03) 3947-5141 FAX:(03) 3947-5145

メール:seminary@tbts.jp

tbts.jp

検索

## 2021 年度前期 東京バプテスト神学校受講案内

本科・神学専攻科・教会教育専攻科・教会音楽本科・教会音楽専攻科・信徒リーダー養成コース・教会音楽奉仕者養成コース

【願書受付】 入学・聴講手続に必要な書類を当神学校に請求してください。  
(神学校ホームページからもダウンロード出来ます。)  
\* 願書に必要な事項を記入の上、3月12日(金)までに郵送してください。  
\* 専攻科・本科・信徒リーダー養成コース入学及び聴講希望者には牧師の推薦が必要です。  
(但し1課目のみ試験聴講の方は不要です。)  
\* 専攻科入学希望者には、教会総会の推薦を必要とします。  
\* 公開講座受講者は入学手続き不要です。

【試験面接】 3月26日(金)午後6時30分  
\* 入学・聴講面接(但し専攻科は筆記試験と面接)  
\* 教会音楽科は、実技及び楽典の試験と面接を行います。

【入学式・オリエンテーション】  
4月2日(金)午後6時30分 於:茗荷谷キリスト教会  
\* 受講手続きがありますので受講者は全員出席してください。

【学 期】 ・前期 4月5日(月)~9月30日(木)  
<夏期休業 8月1日(日)~8月31日(月)>  
・後期 10月4日(月)~2022年3月31日(木)  
<冬期休業 12月13日(月)~2021年1月2日(日)>

【休業日】 主日、水曜日、国民の祝日(但し2月11日は除きます)

【授業時間】 月曜・火曜・木曜・金曜日 午後6時30分~8時30分  
\* 但し、教会音楽科については土曜日午前9時30分~午後3時30分

【入学金】 ・本科・専攻科 100,000円  
・信徒リーダー養成コース 50,000円  
・教会音楽奉仕者養成コース 50,000円

【受講料】 ・在学生(本科・信徒リーダー・音楽奉仕者) 1課目4単位25,000円、2単位12,500円  
・聴講生 1課目4単位30,000円、2単位15,000円  
・専攻科 年間200,000円

【設備費】 一律10,000円(年間)

【通信受講】 通信受講の場合、1課目5,000円の通信事務費が必要です。

### 【公開講座】

・公開講座はどなたでも入学手続きなしで受講できます。なお卒業生、連盟加盟教会牧師は1課目4単位30,000円が半額15,000円となります。また、後援会加入により、受講者は半額で受講できます。  
・教会内の複数名が共同受講する場合は、通信費等は不要で、必要があればパソコン等の機器貸出も行います。

## 2021 年度前期 課目案内(\* 公開講座)

**「ギリシャ語初級」** 月曜日 4単位 小牧由香  
原典を読むことによって翻訳聖書ではわからないニュアンスの違いを知ることができます。テキストは新約聖書ギリシャ語教本「エレメンツ」(ジェレミー・ダフ著／信教出版社)、辞書は新約聖書ギリシャ語小辞典(織田昭編／教文館出版部、PC版もあり)をお勧めします。ギリシャ語の文法は難解とされていますが、最近ではインターネットやパソコンの学習ソフトを利用し効率的にギリシャ語原典を読むことができます。ギリシャ語の文法を学び、学習ソフトで用いる解析記号を理解できるよう進めていきます。

**\* 連続公開講座「イエスのたとえ話」** 月曜日 4単位 山口里子  
キリスト教は慈しみと正義の神を仰ぎ、イエス・キリストを語り伝えて、全ての人が幸いな人生を生きることを望んで来ました。けれども、キリスト教は差別と戦争を下支えしてきた歴史もあります。これを踏まえて、20世紀後期から、現代の様々な学問情報を活用する新しい神学が多様に展開されてきました。それは、誰もが性別・身分・民族などによる差別から解放され、自分らしく幸せに生きれる平和な世界を希求することです。この講座では、新しい聖書学を紹介しつつイエスのたとえ話を学んで、私たちはどう生きようとするのか、率直に疑問を出し合い、共に学びましょう。  
テキスト: 山口里子著『イエスの譬え話 ①ガリラヤ民衆が聞いたメッセージを探る』(新教出版社, 2014年)、『イエスの譬え話 ②いのちをかけて語りかけたメッセージは?』(新教出版社, 2017年)

**「教会史Ⅲ」(日本キリスト教史)** 火曜日 4単位 坂本誠  
本講義においては、日本におけるキリスト教史の流れを理解し、把握することを目標とします。教科書は、鈴木典久著『日本キリスト教史・年表で読む』、教文館、4,968円を使用します。各自購入して授業に臨んでください。参考書等は別途案内します。評価は出席、ビデオ講義の方には各講義レポートを予定しておりますが、各時間、教科書を要約し、順次発表していただきます。ビデオ受講の方は発表原稿を送付していただき、代読という形で発表させていただきます。それにより評価をしていきます。担当者の発表終了後、坂本が補足講義を致します。尚、授業内容は、授業の進み方等で若干変更する場合があります。

**「伝道学」** 火曜日 4単位 木村一充・秋山信夫・松村誠一  
なぜ教会は伝道するのか～伝道から宣教へ、日本教会の伝道の歴史(明治・大正・昭和・現在)、日本の宗教と文化からみたキリスト教受容、現代の日本における伝道の課題、聖書から見た伝道、伝道と教会形成、牧師の働きと信徒の働き、今日の伝道の課題と諸教会との協力伝道、教会形成と伝道(事例研究)、伝道集会、パートナーシップ伝道、ミッションスクールとの提携による伝道、伝道者になるとは等について講義する。  
参考文献: 木村文太郎「日本の伝道学Ⅱ」(絶版、コピー配布)、近藤勝彦「日本の伝道」(教文館、2200円)、越川弘英編「牧師とは何か」(教団出版、4600円)

**\* 神学特講「出エジプト記を読む」** 木曜日 4単位 城倉啓・田坂元彦  
出エジプト記は、神がイスラエルをエジプトの奴隷生活から救出して契約を結び、礼拝する生活へと導かれた記録です。神が私たちを礼拝する教会としてどのように建て上げようとされているのか、聖書を読みながら神に聞いてまいりましょう。前半 10 回で、出エジプト記を最後まで読み進めます。後半 5 回は、いくつかの重要なテーマに焦点を当てていきます。モーセとアロンが協力して民を導いたように、二人の牧師が協力して講義を担当します。冒頭の 10 分間は、説教と祈りによる礼拝をささげます。出エジプト記からの説教準備の仕方も、講義で触れる予定です。各回で扱う章は、事前に読んできてください。参考書は、適宜指示します。評価は、学期末にレポートまたは説教原稿を提出していただきます。

**「教会教育概論」** 木曜日 4単位 矢野由美  
教会教育とは～の問いから、「キリスト教教育原理」「キリスト教の人間観」「イエス・キリストの教育方法」「キリスト教教育の人間形成」「キリスト教教育の場としての共同体(教会)」等について学び合います。参考図書としては『キリスト教教育研究』吉岡良昌著、『人生の四季・発展と成熟』ポール・トルニエ著、『共に生きる生活』D・ボンヘッファー著、『キリスト教教育事典』日本基督教団出版を用いる予定です。

**\* 公開講座「賛美歌学」** 金曜日 4単位 江原美歌子+ゲスト講師  
賛美歌を聖書的、神学的、文学的、音楽的、歴史的視点から学び、礼拝においてどのように賛美歌を用いるかを研究すると同時に、賛美歌の詞の機能を知り、さらに豊かに賛美歌を用いる方法を探究していく。日本バプテスト連盟発行「新生讃美歌」の歴史と特徴を知り、礼拝、諸集会での賛美歌の選曲の助けとなる学びをしていく。また現代の賛美歌の動向を知り、今求められている賛美歌の詞の内容(宣教課題)を研究する。賛美歌を様々な角度からアプローチし、集中して学ぶよい機会です。特に賛美歌選曲には重きをおいていますので、教会での礼拝、諸集会で実践応用することができます。

テキスト:『新版 賛美歌—その歴史と背景』(原恵/横坂康彦著、日本キリスト教団出版局)、テキスト:『新生讃美歌ブックレット』(日本バプテスト連盟)

**「教会形成論」** 金曜日 4単位 内藤淳一郎  
①礼拝、伝道、教育、牧会、奉仕という「教会の働き」(ミニストリー)を学ぶ。②会衆主義教会の信徒像、組織と運営、牧師の働き、執事の働きなどバプテスト教会の取り組みについて学ぶ。③「信仰告白」、「バプテスマと主の晩餐」、「按手(礼)」についての理解とバプテスト教会の課題を学ぶ。(以上①、②、③を15回の授業で取り上げる)  
④テキスト「ウイリモン『牧師—その神学と実践』。他に、その都度、内藤が資料を提供する。

**\* 公開講座「合唱」** 土曜日 2単位 山中臨在  
合唱は合唱受講生(神学生、一般)、卒業生、及び教師により構成する。授業は週一回。単位修得のためには、授業出席の他、教師によって求められる課題を提出すること。教会音楽科演奏会及び、本合唱グループの演奏には積極的に参加すること。本授業は教会音楽科学生在学中は履修を必修とする。

**「楽典・ソルフェージュ」** 土曜日 4単位 十時節子  
音楽の基礎として、【楽典】【視唱】【リズム】【読譜】【聴音】など実習を通して学んでいきます。特に読譜に必要な音楽知識は一から学んでいきますので、教会音楽科の学生だけでなく賛美歌をリードするため神学科や教会教育科の学生にも是非受講をお薦めいたします。豊かな賛美を捧げるためにも音楽の基礎を学び、教会音楽の実践として活用できるように音楽力を身につけていきます。指揮法を学ぶためにはこの課目受講が必須となります。〔テキスト〕①「大人のための楽典ワーク〈コード・ネーム編〉」ドレミ出版、②「8小節のソルフェージュ」全音楽譜出版、③新生讃美歌

**「指揮法Ⅰ」** 土曜日 4単位 山中臨在  
指揮法基礎の理論と実践。指揮の基本的パターンの習得。指揮の目的、指揮者の役割と働き。会衆賛美における指揮の学び。

**「教会音楽実践Ⅰ」** 土曜日 4単位 菊地るみ子  
教会音楽ミニストリーの基礎と組織、指導法、プログラム計画、予算の立案。音楽関係器材の購入と管理。音楽事務管理。等を学ぶ。テキスト: 新生讃美歌・聖書・「活力ある教会作り」(日本バプテスト連盟)・レポート提出

**\* 夏期公開講座「介護の神学Ⅰ」** 8月2～3日(予定) 山形謙二  
講師は神戸アドベンチスト病院名誉院長、ホスピス医としての長年の経験から、人間の死ぬことの意味を考えていく。内容は「スピリチュアル・ケア～死にゆく人をどう看取るのか」、「苦難の意味～死と人生」、「苦しみの彼方に～死の痛みと緩和ケア」、「死の陰の谷を歩むとも～人間らしく死ぬ」、「見えないものに目を注いで～死後の命を考える」